

上毛電鉄「富士山下駅（ふじやましたえき）」からみる富士山について

この度、世界文化遺産への正式登録が確実となった山梨県の「富士山(ふじさん)」。今後更なる「富士山」への観光客が増えることが予想されますが、弊社の「富士山下(ふじやました)」駅から富士山に行けると間違えて訪れる外国人観光客が現在、年に何人かおられます。ぜひこの機会に、誤乗車されないようPRしていきたいと思えます。

さて、上毛電鉄の富士山下駅は確かに群馬県の「富士山」の下に存在する駅であり、昭和3年の開業当時からある駅です。駅近くに「富士山」と呼ばれる標高160mの小さな山があり、頂上に浅間神社が祀られています。本当に小さな「富士山」が現存します。かつて富士山に登山して神さまや仏さまへお参りする旅が流行しました。現在の観光旅行の原型になりましたが、富士山登山ができない、お年寄りや体の不自由な人が、富士山へ登ってお参りをしたのと同じご利益があるとして「富士塚」という、富士山の形をした小さな山が各地に盛んにつくられました。この山はもちろん人工的につくられた山ではなく、自然の丘陵地で富士塚とよぶには少し大きいものですが、山頂には浅間神をまつた石の祠や、烏帽子岩(えぼしいわ)、小御嶽石尊大権現(おみたけせきそんだいごんげん)など富士山のスケールを小さくしたような姿がみてとれます。

ぜひ、この機会に群馬県の小さな「富士山」に登山に訪れてみてはいかがでしょうか。渡良瀬川沿いでもあり、景色も空気もきれいです。また帰りは富士山下駅→丸山下駅→西桐生駅に立ち寄り、国の登録有形文化財群でもある桐生市内の散策や名物のソースかつ丼など見て食べて1日巡ってみてはいかがでしょうか。ご乗車をお待ちしております。



東京新聞はじめテレビ朝日「スーパーJチャンネル」「やじうまニュース」やTBSラジオなどで報道されました。



富士山下駅にて電車を見送ります。昔懐かしい踏切の音が聞こえます



登山口は二つ、今回は右登山コースから登ります



イノシシ注意の掲示がありました。気を付けて登りましょう。



木道を進みます。



7合目?あたりからの景色です。頂上はもうすぐ。



頂上に到着。渡良瀬川が見えてとてもよい景色でした。